# 乳児用チャイルドシートの評価結果一覧

					育	<b>前面衝突試験</b>				使用性評価試験				
指定 番号 (注)	通称名	メーカー等名	取付部 等の 破損	シート バックの 傾き (°)	頭部の はみ出し (mm)	胸部に 生じる 加速度 (G)	その他 の事象	評価	取扱 説明 書等	本体表示内容	機構の説明	座席 への 取付	着 座 性	
E <sub>8</sub> 044159	パミオウーノ	リーマン(株)	0	© 53	© 0	O 59.23	なし	良	4.5	4.0	4.0	4.8	3.6	
C-2522	Takata04-comfyN	タカタ(株)	©	⊚ 50	© 0	© 46.40	なし	優	4.5	3.2	4.0	3.8	3.8	
C-2518	ニューボーンベッド イージーターン Wエアサーモ1000	アップリカ葛西㈱	0	O 61	© 0	© 45.80	なし	良	2.3	2.8	2.4	2.8	3.4	
C-2517	ニューボーンベッド イージーターン600	アップリカ葛西㈱	0	© 55	© 0	O 59.36	なし	良	2.3	2.8	2.2	2.8	3.4	
C-2516	エールベベ・ズット	株力一メイト	0	© 59	© 0	⊚ 46.88	なし	優	4.3	3.5	3.7	4.0	4.2	

# 乳児用チャイルドシート(ベッド型)の評価結果一覧

			_			·	<b>-</b>	,						
lla-t-	通称名	メーカー等名	前面衝突試験							使用性評価試験				
指定番号 (注)			取付部 等の 破損	ベッド 底面の 傾き	頭部 移動量 (mm)	胸部に 生じる 加速度 (G)	その他 の事象	評価	取扱 説明 書等	本体 表示 内容	機構 の 説明	座席 への 取付	着 座 性	
C-2518	ニューボーンベッド イージーターン Wエアサーモ1000	アップリカ葛西㈱	0	0	⊚ 461	O 67.49	なし	良	2.3	2.8	2.4	2.8	3.4	
C-2512	ニューボーンベッド イージーターン600	アップリカ葛西㈱	0	0	© 458	O 63.45	なし	良	2.3	2.8	2.2	2.8	3.4	

<sup>(</sup>注)「E<sub>\*\*</sub>04 \* \* \* \* 」とは 2006 年 10 月に施行された国内基準に適合したものを示す。なお、国内基準とは現行の国連基準(ECE 規則第 44 号第 4 改訂版)と同じものです。「C− \* \* \* \* 」とは 2000 年1月に施行された国内の基準に適合したものを示す。

# 幼児用チャイルドシートの評価結果一覧

			前面衝突試験						使用性評価試験						
指定 番号 (注)	通称名	メーカー等名	取付部 等の 破損	頭: 移動 (mi	力量	頭部に 生じる 加速度 (G)	生 加	部に  じる  速度 (G)	その他 の事象	評価	取扱 説明 書等	本体表示内容	機構 の 説明	座席 への 取付	着 座 性
E <sub>8</sub> 044159	パミオウーノ	リーマン(株)	0	0	555	O 81.82	0	45.22	なし	普通	4.5	4.0	4.0	5.0	4.0
C-2522	Takata04-comfyN	タカタ(株)	0	0	600	© 73.84	0	48.27	なし	良	4.5	3.2	4.0	5.0	3.8
C-2518	ニューボーンベッド イージーターン Wエアサーモ1000	アップリカ葛西㈱	0	0	640	O 87.83	0	64.71	× ( <u>*</u> )	推奨せず	2.3	2.8	2.4	2.8	3.4
C-2517	ニューボーンベッド イージーターン600	アップリカ葛西㈱	0	0	582	© 79.74	0	46.33	× ( <u>*</u> )	推奨せず	2.3	2.8	2.2	2.8	3.4
C-2516	エールベベ・ズット	(株)カーメイト	0	0	630	© 77.55	0	44.07	なし	良	4.3	3.5	3.7	4.8	4.2
旧国連基準	プリオリXP	コンビ(株)	©	0	685	O 81.47	0	42.62	なし	普通	3.8	2.5	2.3	5.0	4.6
米国基準	NEWトラベルベスト	㈱日本育児	0	0	603	© 60.41	0	46.31	なし	普通	2.5	3.0	3.0	2.5	2.0

<sup>(</sup>注)「E<sub>\*\*</sub>04 \* \* \* \* 」とは 2006 年 10 月に施行された国内基準に適合したものを示す。なお、国内基準とは現行の国連基準(ECE 規則第 44 号第 4 改訂版)と同じものです。「C− \* \* \* \* 」とは 2000 年1月に施行された国内の基準に適合したものを示す。

「旧国連基準」とは ECE 規則第 44 号第 3 改訂版に適合したものを示す。

「米国基準」とは FMVSS No213 に適合したものを示す。

※ 腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与えるおそれがあった。

## 平成18年度チャイルドシートアセスメントの概要

## 1. チャイルドシートアセスメントの概要

チャイルドシートアセスメントは、信頼できる安全性能評価を公表して、ユーザーがより安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者等によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

また、その内容について公正・中立性を確保するため、自動車等安全性能評価実施要領(平成18年国土交通省告示第650号)に基づき行われています。

## 2. 試験対象チャイルドシートの選定方法について

試験対象とするチャイルドシートは、国が定める安全基準(道路運送車両の保安基準)または海外(欧州及び米国)の基準に適合し、平成18年10月末時点で販売されている乳児用及び幼児用チャイルドシートのなかから、原則として平成17年4月から平成18年9月までの間の出荷実績が上位のものを選定しています。ただし、前年度までに試験を実施したものを除いています。

上記原則に則り、平成18年度は、出荷実績の多いものを基本として、乳児・幼児兼用チャイルドシート5製品と幼児専用チャイルドシート2製品を選定しました。

## 3. 前面衝突試験の評価結果

# (1) 評価方法

前面衝突試験は、チャイルドシートを取り付けた試験用車両に、自動車の時速 55km での前面衝突時と同様の衝撃を発生させて行います。衝突速度は自動車アセスメントのフルラップ前面衝突試験と同様、より高い安全性能を評価する観点から、国の安全基準(道路運送車両の保安基準)における衝突速度の1割増で実施しています。

乳児用は進行方向後ろ向き、幼児用は前向きにチャイルドシートを取り付けて試験を実施しています。

それぞれの評価項目についてダミーによる計測等を行い、前面衝突試験の評価を、「優」、「良」、「普通」及び「推奨せず」の4段階で評価しています。

なお、「推奨せず」とは、より高い安全性能を評価する本試験の結果からは 推奨に至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験 対象とした製品は、日米欧のいずれかの基準に適合しており、一定レベルの安 全性は確保されています。

## (2) 乳児用チャイルドシートの試験結果

乳児用チャイルドシート5製品のうち2製品は後ろ向きと横向き(ベッド型)の2種類の取り付けができるため、それぞれの状態で評価を行い、全部で7製品に対する結果がまとまりました。

その評価結果は「優」2製品、「良」5製品で、「普通」及び「推奨せず」はありませんでした。

平成13年度以降の試験結果と比較をすると以下のとおりです。

評価区分	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
優	2	5	4	3	4	5
良	5	2	2	1	4	1
普通	0	1	0	0	2	8
推奨せず	0	1	0	0	0	6
合計	7	9	6	4	1 0	2 0

乳児用チャイルドシートの前面衝突試験結果

## (3) 幼児用チャイルドシートの試験結果

幼児用チャイルドシート7製品の評価結果は「良」2製品、「普通」3製品 及び「推奨せず」2製品となり、「優」はありませんでした。

平成13年度以降の試験結果と比較をすると以下のとおりとなります。

評価区分	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
優	0	0	1	1	0	0
良	2	3	3	0	8	8
普通	3	2	2	3	1	5
推奨せず	2	1	1	1	0	8
評価できず※	0	2	2	1	0	0
合計	7	8	9	6	9	2 1

幼児用チャイルドシートの前面衝突試験結果

## 4. 使用性評価試験の評価結果

#### (1) 評価方法

ユーザーによる自動車の座席への確実な取り付けがしやすいように配慮されているかなど、チャイルドシートの誤った使用を防止する観点から、使用実態を反映した5つの評価項目(取扱説明書等の記載内容、本体表示内容、機構の

<sup>※「</sup>評価できず」については、計測範囲外の事象があったため正しく評価できなかったもの、 腹部圧迫の程度を評価できなかったため全体評価を行わないこととしたもの、取扱説明書ど おりに装着できないものが該当します。

性能、座席への取付け、乳児/幼児の着座性)について、5名の専門家により、標準的なレベルを3点として、 $1\sim5$ 点で判定を行います。

## (2) 試験結果

全ての評価項目について標準的なレベル (3点)以上となる使用性に優れる チャイルドシートが3製品ありました。

使用性評価結果について、平成13年度以降の試験結果と比較をすると以下のとおりです。

乳児用/幼児用チャイルドシートの使用性評価試験結果

評価区分	1 8	1 7	1 6	1 5	1 4	1 3
計価区分	年度	年度	年度	年度	年度	年度
取扱説明書等の記載内容	3. 3	3. 4	3. 4	4. 0	3. 7	3. 1
本体表示内容	3. 1	3. 1	3. 3	3.8	3. 9	3. 4
機構の性能	3. 0	3. 1	3. 3	3. 8	3. 6	2.8
座席への取付け	3. 7	3. 5	3. 6	4. 1	3. 9	3. 2
乳児/幼児の着座性	3. 6	3. 6	3. 0	3. 8	3.8	3. 0